

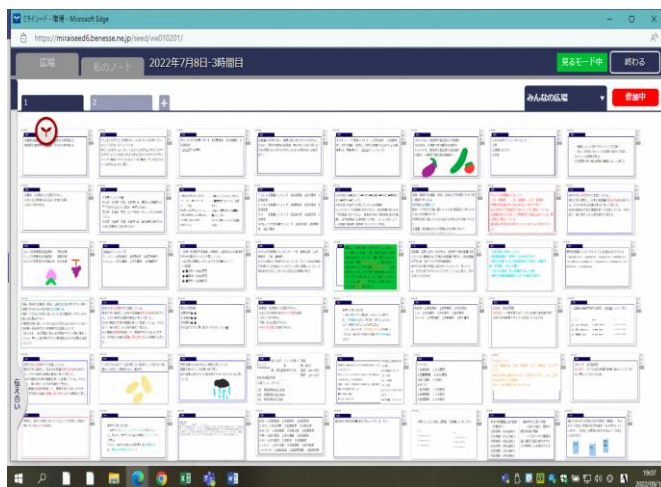
小学校 5年 社会科 「くらしを支える食料生産」

授業のねらい

- 自分たちが食べている食料品の産地等について、各児童が調べたことを共有する場を取ることで学びを深めることができる。

I C T 活用の工夫

- ①ミライシードの「ムーブノート」を活用して、自分が調べたことを、「お米」「畜産」「果物」「野菜」で分類されたラベルごとに報告させた。
- ②児童から報告されたものを教員が発表した。
- ③報告された内容から共通するものを児童に考えさせて、気付いたことを「ムーブノート」で共有した。
- ④キーワード分析機能を活用し、共通する言葉を視覚化して、児童に分かりやすく提示した。



児童の様子

- 「広場」の様子は児童自身も確認できるので、「広場」の意見を児童自らが見ながら、自分の意見の発表の仕方を変えるなど、児童自身も学習の深まりを実感していた。

成果

- ムーブノートの活用により、今までの授業よりも児童が意見に触れる機会が多く、児童に実際に聞いてみたところ、学習の理解度、深まり具合を実感していた様子だった。
- 意見をあまり言えない児童でも意見を書くことができるので、教師は今までの授業と違った展開ができた。
- ムーブノートの意見は CSV ファイルで出力できるので、記録も蓄積することができる。

課題

- 教師のスキルが必要になるので、事前の研修、シミュレーションは必要だと感じた。
- 1 時間ではなく、2 時間連続で時間を取り、余裕をもって進めると、より児童が意見を出しやすくなる。